

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑 プラン： 1-2 施策番号： 局・課名： 健康福祉局 ころの健康センター

事業名	ころの健康センター地域支援事業費		事業費(千円)		平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
						28,518	34,375	17,845
事業概要	【目的】	精神保健及び精神障害者の福祉に関する知識の普及啓発により、市民のメンタルヘルスの増進をめざす。精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談・指導について複雑又は困難なものを行ない、精神保健福祉に関わる業務を行う関係機関に対する技術的事項についての協力その他必要な援助を行うことにより、精神的健康に不安を持つ市民及び精神障害者の福祉の向上を図る。						
	【内容】	<p>■「ひきこもり支援」 ひきこもり地域支援センターを設置し、本人及び家族等からの相談に応じ、必要な支援を提供する。家庭訪問等の個別相談のほか、外出可能な者に対しては社会参加の準備として、ボランティア体験や就労準備などの作業を含めた集団支援を実施する。</p> <p>■「自死遺族相談」 大切な人を自死で亡くされた遺族の方に対し、専門的なころのケアを行う。</p> <p>■「性暴力被害に遭われた女性のための心理カウンセリング」 性暴力被害に遭われた女性のために、専門的なころのケア(心理カウンセリング)を行う。</p>						
	【今年度要求のポイント】	相談者数の増加、8050問題などの複雑化、引きこもり問題の長期化などに対応するため、ひきこもり地域支援センター(ころの健康センター)の体制の強化を図る。 ①専門チームに社会福祉士・精神保健福祉士を加え、多種多様事案に対応できる体制を構築 ②安心して過ごせる「居場所」や自らの役割を感じられる「社会参加活動」を提供 ③ひきこもりに関する知識を普及啓発、関わり方についての研修等を行いながら、見守りができる支援体制を構築						
	【債務負担行為】	期間		要求額(千円)				
		R ~ R						
	【主要要求内容】	(単位:千円)						
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等				
	専門職(非常勤)の給与等	22,080	10,646	精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士、社会福祉士 計7名				
	専門相談等医師報酬	1,008	336	ひきこもり、自死遺族相談業務				
	研修講師謝礼金	6,802	4,959	ひきこもり支援等に関する研修				
研修旅費、専門職(非常勤)の通勤費	2,296	1,061	ひきこもり対策研修(東京) 他					
グループワーク用品、印刷費等	683	70	調理材料費、啓発冊子等					
通信運搬費、行先保険料、公認心理師受験手数料	279	113	専用電話、郵送費、公認心理師受験関係等					
会場等使用料、自動車・駐車場借上料	223	101	グループワーク、訪問等					
備品購入費	152	0	専門相談統計用データパソコン					
研修会、その他参加負担金	852	559	ひきこもり地域支援C全国連絡協議会参加費等					
合計	34,375	17,845						
スケジュール(経過及び今後展開)								
【経過(～元年度)】		【2年度】		【今後予定(3年度～)】				
ひきこもり地域支援センターによるひきこもり相談、自死遺族相談、性暴力被害カウンセリングの継続		ひきこもり相談については、高齢化に対応するため、訪問等よりきめ細やかな相談を実施する。		事業の継続実施				
その他 特記事項								
関連事業:								